

2 主な整備箇所(地域版)

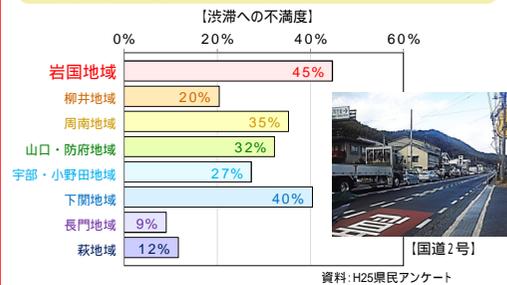
1 岩国地域のみちづくりに関する現状と課題

- 観光地や広域交通拠点(岩国錦帯橋空港等)へのアクセス強化による**観光客の利便性の向上**
- 都市間や拠点間の道路整備による**交流・連携の強化**
- バイパス整備等による**渋滞対策の推進**
- 歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- 災害時等にも機能する**広域道路ネットワークの構築**や**安心・安全な生活道路の整備**
- 緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- トンネルをはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**

市街地の慢性的な渋滞

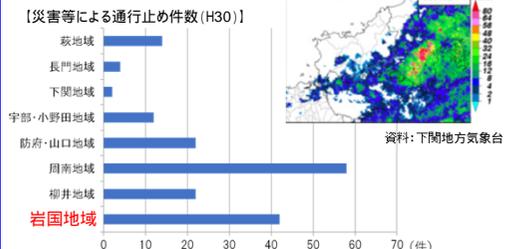
国道2号・国道188号は、岩国港及び周辺工場の物流経路として、また、市街地から岩国ICへアクセスする経路としての役割を担っていますが、域内交通と通過交通が混在し、慢性的な渋滞が発生しています。特に、平成24年12月に岩国錦帯橋空港が開港されたこともあり、これまで以上に所要時間の定時性を確保することが求められています。

よく使う道路の車の流れや渋滞の状況についてどう思いますか？

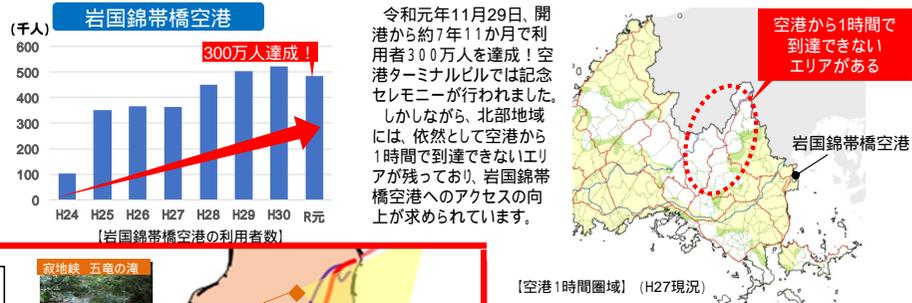


県内共通 災害等による通行止め

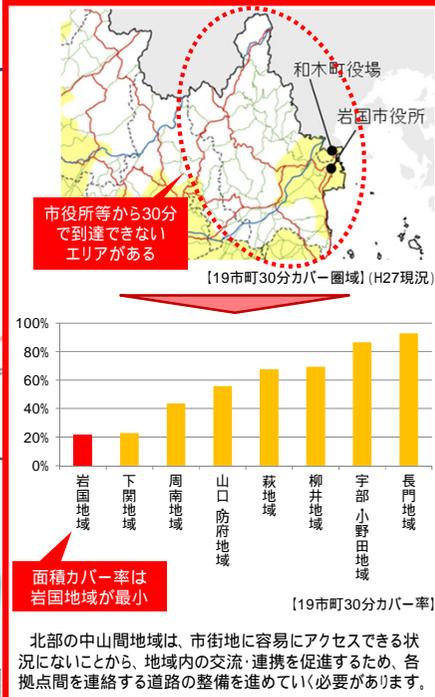
平成30年7月7日、玖珂(岩国市)で1時間降水量76.0mm(観測史上1位)を記録する豪雨が県東部を襲いました。この雨により国道187号や県道岩国玖珂線が土砂崩落等で通行止めになるなど、幹線道路の通行規制が市民生活に大きな影響を与えました。このため、災害に強い道路ネットワークの構築が求められています。



広域交通拠点(岩国錦帯橋空港)へのアクセス



拠点間の交流・連携



道の駅、市役所等、産業団地、観光地、主要渋滞箇所、第三次医療施設、第二次医療施設

広域連携軸、都市間連携軸、拠点間連携軸、都市拠点、地域拠点

救護隊 五竜の滝、深谷PA、深谷峡温泉、双津峡温泉、道の駅ビュアラインにしき、緑ヶ峯総合公園(Beat! ビープラス)、和木町役場、岩国市役所、岩国錦帯橋空港、臨海部の工業エリア

とこととトレイン、地底王国美川ムーバレー、観音水車でかまろくん、テカロボト周東

岩国市医療センター、岩国市医師会、岩国市保健センター、岩国市消防本部、岩国市消防団、岩国市消防組合、岩国市消防団、岩国市消防団、岩国市消防団

岩国市、吉香公園、ローブウェイ、横山シロヘビ観察所、旧目加田家住宅、錦帯橋

井市役所、天島出張所、周防大島町

県内共通 子供と高齢者の交通事故死傷者割合



県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。このため、拠点間連携に寄与している高根橋や出市第3トンネルなどの適切な対策が必要です。

2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」

- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

1-a	県道岩国錦線
1-b	(仮)玖西地区外郭環状道路

人々のいのちを「守る」

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

1-c	国道187号
1-d	県道柳井周東線

災害に「備える」

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

1-e	県道周東美川線
	国道434号

未来に「つなぐ」

- 老朽化した道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

	国道187号
	国道434号

その他、中国縦貫自動車道、山陽自動車道へのスマートインターチェンジの設置

- ↷ バイパス
- ↔ 現道拡幅
- 🚶 自歩道整備
- 👤 歩道整備
- ⊕ 交差点改良
- 📏 のり面対策
- 🛡️ 耐震化
- 🚫 無電柱化
- 🕒 長寿命化
- 📶 SIC スマートインターチェンジ

- 🚉 道の駅
- 🏛️ 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支 え る	守 る	備 え る	つ な ぐ
1-1	国道2号 (岩国・大竹道路)	バイパス	事業継続				
1-2	国道188号 (藤生長野バイパス)	バイパス	事業継続				
1-3	国道434号 (須川バイパス)	バイパス	完成 (R6)				
1-4	県道岩国大竹線 (関ヶ浜～小瀬)	現道拡幅	事業継続				
1-5	県道岩国玖珂線 (欽明路～柳井田上)	バイパス	事業継続				
1-6	県道岩国美和線 (阿品)	現道拡幅	事業継続				
1-7	県道徳山本郷線 (尾崎)	バイパス	事業継続				
1-8	県道岩国錦帯橋空港線 (旭町)	現道拡幅	完成 (R6)				
1-9	県道通津周東線 (瀬田下～上久原)	現道拡幅	事業継続				
1-10	県道北中山岩国線 (田ノ口)	現道拡幅	完成 (R7)				
1-11	県道蜂ヶ峰公園線 (瀬田～和木)	バイパス	事業継続				
1-12	県道久杉高水停車場線 (差川)	バイパス	事業継続				
1-13	県道鉄壺山公園線 (有家)	現道拡幅	部分完成 (R7)				
1-14	国道187号 (荒瀬)	歩道整備	事業継続				
1-15	県道北中山岩国線 (瀬田)	歩道整備	事業継続				
1-16	国道187号 (杭名～大野)	のり面対策	事業継続				
1-17	県道岩国佐伯線 (長谷大橋)	耐震化	事業継続				
1-18	国道434号 (広瀬新橋)	耐震化	事業継続				
1-19	国道187号 (出市第1～3トンネル)	長寿命化	事業継続				
1-20	県道岩国大竹線 (御庄大橋)	長寿命化	事業継続				
1-21	県道藤生停車場錦帯橋線 (臥龍橋)	長寿命化	事業継続				
1-22	県道岩国佐伯線 (亀尾川)	バイパス	事業継続				
1-23	県道上久原藤生停車場線 (黒磯)	バイパス	事業継続				
1-24	国道434号 (宇佐)	現道拡幅	事業継続				
1-25	県道柳井周東線 (用田)	歩道整備	事業継続				

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

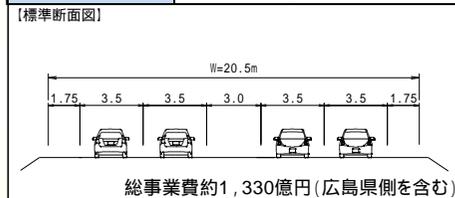
1 岩国地域の主な整備中箇所

1-1 国道2号(岩国・大竹道路)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 9.8 km
幅員	W = 19.0 ~ 20.5 m
着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 岩国から大竹間における慢性的な渋滞を緩和します。
- ◆ 岩国から大竹間における国道2号の交通事故の減少を図ります。
- ◆ 広島県との広域的な連携強化や交流促進を図ります。

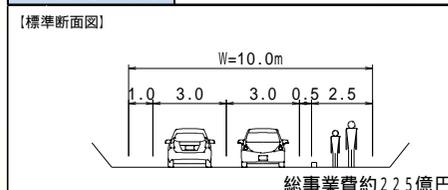


1-3 国道434号(須川バイパス)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 11.3 km
幅員	W = 10.0 m
着手年度	昭和61年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 広島県や島根県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

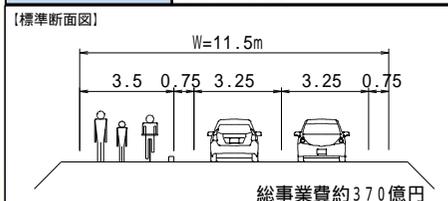


1-2 国道188号(藤生長野バイパス)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 7.6 km
幅員	W = 11.5 m
着手年度	令和元年度



目的(効果)

- ◆ 現道の渋滞緩和や交通事故の減少を図ります。
- ◆ 岩国ICや岩国港とのアクセスが向上し、物流の効率化を図ります。
- ◆ 災害時における代替路が確保され、信頼性の高いネットワークが形成されます。

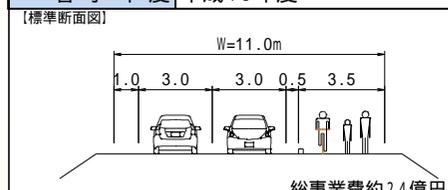


1-4 県道岩国大竹線(関ヶ浜～小瀬)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.9 km
幅員	W = 11.0 m
着手年度	平成15年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く(車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 広島県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

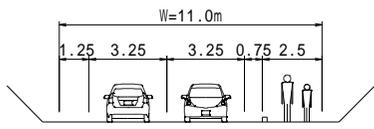
1-5 15 県道岩国玖珂線(欽明路～柳井田上)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 3.2km
幅員	W = 11.0m
着手年度	平成12年度

(標準断面図)



総事業費約7.2億円



部分完成区間

目的(効果)

- ◆ 玖珂市街地における渋滞を緩和します。
- ◆ 山陽自動車道玖珂ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧玖珂町と岩国市街地との連携強化を図ります。

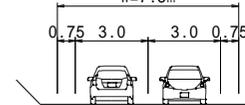
1-7 69 県道徳山本郷線(尾崎)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 0.7km
幅員	W = 7.5m
着手年度	平成26年度

(標準断面図)



総事業費約2.5億円



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道187号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

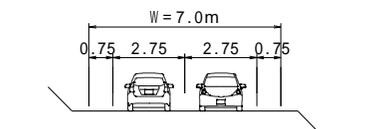
1-6 111 県道岩国美和線(阿品)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.9km
幅員	W = 7.0m
着手年度	平成27年度

(標準断面図)



総事業費約6.5億円



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道2号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

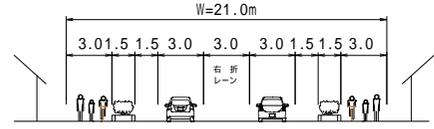
1-8 110 県道岩国錦帯橋空港線(旭町)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.4km
幅員	W = 21.0m
着手年度	平成24年度

(標準断面図)



R6 完成

総事業費約1.0億円



目的(効果)

- ◆ 空港入口交差点における渋滞を緩和します。
- ◆ 岩国錦帯橋空港へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

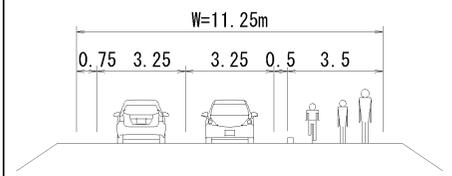
1-9 115 県道通津周東線(瀬田下～上久原)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.5km
幅員	W = 11.25m
着手年度	平成12年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭い箇所を解消します。
- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 玖珂ICへのアクセス性を向上します。



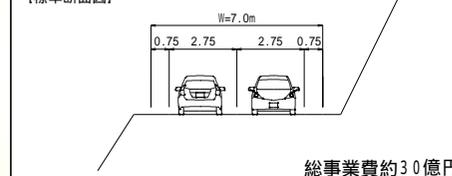
1-11 125 県道蜂ヶ峯公園線(瀬田～和木)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 1.6km
幅員	W = 7.0m
着手年度	平成29年度

【標準断面図】



総事業費約30億円



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所や急な勾配を緩和します。
- ◆ 蜂ヶ峯総合公園へのアクセス性を向上します。



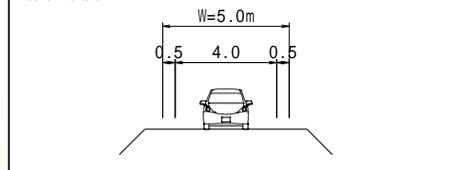
1-10 135 県道北中山岩国線(田ノ口)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 1.0km
幅員	W = 5.0m
着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。



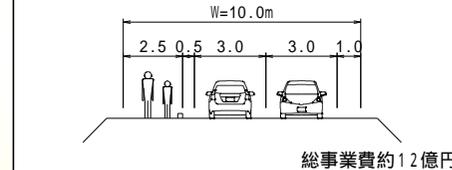
1-12 142 県道久杉高水停車場線(差川)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 1.2km
幅員	W = 10.0m
着手年度	平成10年度

【標準断面図】



総事業費約12億円



目的(効果)

- ◆ 高さ制限箇所の回避により、大型車の通行を可能にします。
- ◆ JR岩徳線米川駅へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

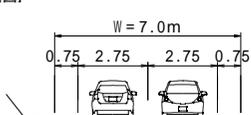
1-13 150 県道銭壺山公園線(有家)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 2.8km
幅員	W = 7.0m
着手年度	平成15年度

【標準断面図】



総事業費約1.9億円



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山口県ふれあいパーク(山口県由宇青少年自然の家)へのアクセス性を向上します。



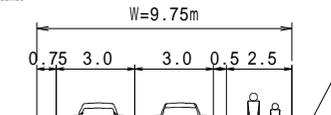
1-15 135 県道北中山岩国線(瀬田)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	歩道整備
延長	L = 0.56km
幅員	W = 9.75m
着手年度	令和3年度

【標準断面図】



総事業費約1.2億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



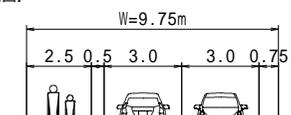
1-14 187 国道187号(荒瀬)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	歩道整備
延長	L = 0.8km
幅員	W = 9.75m
着手年度	平成25年

【標準断面図】



総事業費約1.1億円



目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



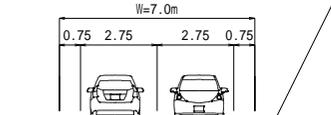
1-16 187 国道187号(杭名~大野)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	のり面対策
延長	L = 1.7km
幅員	W = 7.0m
着手年度	平成28年

【標準断面図】



総事業費約9億円



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

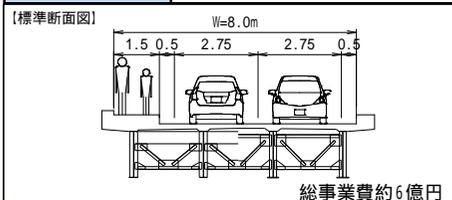
1 岩国地域の主な整備中箇所

1-17 111 県道岩国佐伯線(長浴大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	耐震化
延長	L = 0.2 km
幅員	W = 8.0 m
着手年度	令和元年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

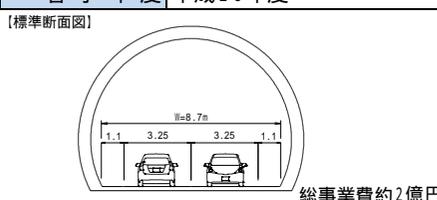


1-19 187 国道187号(出市第1~3トンネル)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.3 km
幅員	W = 8.7 m
着手年度	平成28年度



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

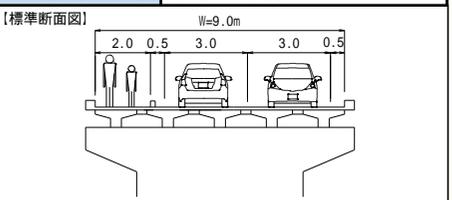


1-18 434 国道434号(広瀬新橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	耐震化
延長	L = 1.0 km
幅員	W = 9.0 m
着手年度	平成29年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

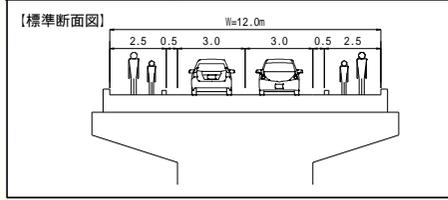


1-20 1 県道岩国大竹線(御庄大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.2 km
幅員	W = 12.0 m
着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

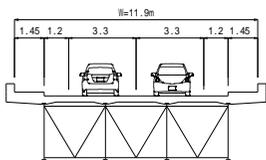
1-21 112 県道藤生停車場錦帯橋線(臥龍橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	長寿命化
延長	L = 0.20km
幅員	W = 11.9m
着手年度	令和元年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



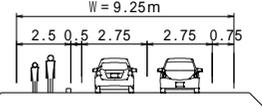
1-23 136 県道上久原藤生停車場線(黒磯)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 1.1km
幅員	W = 9.25m
着手年度	令和4年度

[標準断面図]



総事業費約10億円



目的(効果)

- ◆ 藤生長野バイパスへのアクセス道路として機能するとともに、福祉・交流拠点へのアクセス強化を図ります。
- ◆ 国道188号が越波や交通事故等で通行止めとなった際にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。



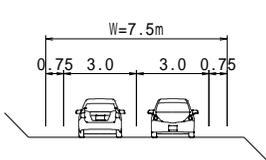
1-22 2 県道岩国佐伯線(亀尾川)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	バイパス
延長	L = 1.2km
幅員	W = 7.5m
着手年度	令和4年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所や急なカーブで見通しが悪い箇所を解消し、安全で円滑な交通を確保します。
- ◆ 地域住民の生活の利便性向上及び産業の振興を図ります。



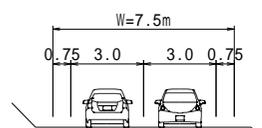
1-24 434 国道434号(宇佐)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	現道拡幅
延長	L = 0.8km
幅員	W = 7.5m
着手年度	令和5年度

[標準断面図]



総事業費約10億円



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 広島県や島根県との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

1 岩国地域の主な整備中箇所

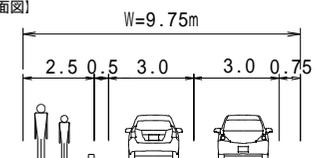
1-25 7 県道柳井周東線(用田)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内容	歩道整備
延長	L = 0.8 km
幅員	W = 6.0 m
着手年度	令和5年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。

